

## SGH講演会・意見交換会⑥（環境科学部）

6月22日(木)、長崎大学環境科学部の高巢裕之助教をお招きし、「長崎および世界の沿岸域における貧酸素水塊の現状」というテーマで講演会・意見交換会を行いました。講演会では、海中の食物連鎖から富栄養化、貧酸素水塊や赤潮・青潮の問題までわかりやすく説明していただきました。特に富栄養化の原因や現状については、閉鎖性水域である大村湾を例に挙げて詳しく解説していただき、生徒は身近な水問題について理解を深めるとともに、自らのテーマ設定について大きなヒントを得ることができたようです。講演後も自らの研究内容について具体的なアドバイスをいただくことができ、充実した会となりました。



## 出張講義（熱帯医学研究所）

6月26日(月)医療班の代表生徒50名は、熱帯医学研究所の大学院生による出張授業を受講しました。長崎大学へ留学している院生による「地球温暖化が健康面へどのような影響をもたらすか」というテーマのプレゼンテーションや、グループに分かれてのディスカッションを通して内容を深めました。今回の出張講義を受けた生徒は、「留学生と内容豊かな会話ができるよう英語をもっと勉強していきたい。」「環境問題と医療との関係と解決の難しさを知った。」など、これからの学習に向けて刺激を受けたようでした。



## SGH講演会・意見交換会⑦（熱帯医学研究所）

6月26日(月)医療班の代表生徒50名は、熱帯医学研究所長の平山謙二先生にご講演いただきました。先生には、研究所の成り立ちや、熱帯感染症の知識と対策および課題点など、高1生にもわかりやすく説明していただきました。また、講演後は活発に質問がなされ、先生には大幅に時間をオーバーしながらも、一つ一つ懇切丁寧に答えていただきました。

